

種目（社会）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	東京書籍（新編 新しい社会）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会事象を様々な資料と人々の思いや願いにふれながら理解し、「ことば」を使ってまとめられるよう配慮されている。</li> <li>・ 様々な社会的な見方・考え方を働かせて、多角的に追究できるよう学習場面や展開が配慮され、まとめ方の例示も工夫されている。</li> <li>・ 発展的な学習内容や社会とのつながりを重視し、主体的に社会に関わろうとする資質を養えるよう配慮されている。</li> </ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 身近な社会事象から学習がスタートできるように配慮され、発達段階に合わせた学びのポイントで学習活動が例示されている。</li> <li>(2) 「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の四つの学習段階が示され、特に「いかす」の場面では、発展的な学習や社会参画の例が提示され、学びの深まりにつながるよう工夫されている。</li> <li>(3) 自分の言葉や「ことば」でまとめる学習とこれまで学習した内容をもとに話し合う活動が例示され、言語活動の充実と共に、児童が主体的・対話的に学習できるように工夫がされている。</li> <li>(4) 調査・見学の学習計画を立てる場面では、学習問題に対する予想の提示や「調べること」「調べ方」「まとめ方」の提示など、社会的な見方・考え方を働かせながら学べるよう工夫されている。</li> <li>(5) 二次元コードや「まなびのポイント」が、どのページも同じ場所に同じ色で配置され、児童が使いやすいよう配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 身近な事象から問題解決的な学習になるよう単元が配置され、学習内容の増える5・6年生を2冊に分け、歴史を分断せずに、1冊で学習を進められるよう工夫されている。</li> <li>(2) 「単元のめあて」「小単元の学習問題」「本時のめあて」が明示され、問題解決的に学習を進めることで、単元と単元がつながるように工夫されている。</li> <li>(3) 社会的な見方・考え方として4種類のイラストを設定し、各ページに配置することで、着目する視点を明らかにし、多角的な追究につながるよう配慮されている。</li> <li>(4) 「いかす」の場面ではメディアリテラシーやこれからの工業発展、「ひろげる」の場面では情報を生かした新しい産業や子ども市会などを扱い、社会参画につながる資質への配慮がなされている。</li> <li>(5) 3・4年生では、地図帳を使った距離の測り方や地名の探し方などの学び方が具体的に示され、地理的・空間的な広がりを目を向けた学習につながるよう工夫されている。</li> <li>(6) 白地図・ノート・ポスター・新聞など、発達段階に合わせた多様なまとめをすることで、知識及び技能、表現力などが育てられるよう工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な事象から課題解決的に学習展開することで、発展的な学習や社会参画につながるよう工夫されている。</li> <li>・ 様々な社会的な見方・考え方を働かせ、発達段階に合った表現活動ができるように、まとめ方が工夫されている。</li> </ul>

種目（社会）

発行者名 採択基準	教育出版（小学社会）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「学びのてびき」を提示し、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けられるよう配慮されている。</li> <li>・ 社会に参画する多様な人々の思いや願いを例示し、社会への関わり方について考え、判断・表現する力を養えるよう配慮されている。</li> <li>・ 「この時間の問い」「みんなでつくった学習問題」の項目が位置付けられ、問題解決を図る態度を養えるよう配慮されている。</li> </ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 前学年の学習を振り返る内容が位置付けられ、児童が発達段階に合わせて学習を進めていけるよう配慮されている。</li> <li>(2) 「つかむ」「調べる」「まとめる」の三つの学習段階が提示され、「まとめる」ではその具体的な方法についてイラストで例示することで、児童の深い学びにつながるよう工夫されている。</li> <li>(3) 情報端末を用いた学習活動の具体例が示されていることで、児童がICTを有効に活用し、主体的・対話的に学習を進められるよう工夫されている。</li> <li>(4) 「社会的な見方・考え方」をイラストと言葉で例示し、児童がそれを意識して観察や調査・見学などの体験活動やそれに基づく表現活動を進められるよう工夫されている。</li> <li>(5) 6年「日本の歴史」において、写真資料に人工着色を加えることで、児童にとって興味をもちやすい配慮がなされている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 児童の発達段階に考慮した単元構成がなされており、社会科への関心や期待を高めながら学習指導を進められるよう配慮がされている。</li> <li>(2) 学習問題の設定について、「みんなでつくった学習問題」と枠で強調して記載され、児童が問いをもって探究的に学習を進めていけるよう配慮されている。</li> <li>(3) 探究的な学習のサイクルについて、円循環図で提示することで、児童が問いを連続的に生みだしながら追究していけるよう配慮がなされている。</li> <li>(4) 「もっと知りたい」「つなげる」の項目を位置付けることで、児童が社会に見られる課題について主体的に考えながら学習が展開できるよう配慮されている。</li> <li>(5) 単元導入時の見開きページ一面に描かれたイラストによって、児童の多様な気づきを促したり、比較・関連付ける学習指導の展開に生かせたりするように工夫されている。</li> <li>(6) 「まとめる」場面では、「ガイドマップ」、「ポスター」等の表現（アウトプット）活動が重視されており、習得した知識を定着させ、思考力、判断力、表現力等を育てるように工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「児童がどのように学ぶのか」の視点を重視し、問題解決的な学習を通して学習の充実が図られるよう工夫されている。</li> <li>・ 対話的な学びを通して、社会づくりに参画・貢献しようとする意欲と態度を育てられるよう工夫されている。</li> </ul>

種目（社会）

<div style="text-align: center;">発行者名</div> 採択基準	日本文教出版（小学社会）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査活動を通して情報を適切に調べ、まとめる技能が身に付けられるように調べ方を具体的に示すなど配慮されている。</li> <li>・ 時間・空間・関係の三つの視点と方法を提示し、社会的事象について多角的に思考・判断ができるように工夫されている。</li> <li>・ 身の回りの社会的事象から始まり、日本や世界で見られる諸課題を児童が主体的に考えることができるように単元を構成している。</li> </ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 発達段階に応じた児童の生活・学習体験をもとに、学習問題を追究できるように内容の選定や単元の配列が配慮されている。</li> <li>(2) さし絵・写真等の資料を多数掲載し、児童の興味を喚起するとともに、キャラクターの疑問や気付きを示すことで、問いが生まれ、学習の深まりを導く単元展開の工夫がされている。</li> <li>(3) 児童の日常生活と関連のある具体的な資料を、単元の導入に提示することにより、児童が生活をもとにした疑問や問題を持ち、主体的・対話的に学習できるように工夫されている。</li> <li>(4) 「学び方・調べ方コーナー」で、資料の読み取り方やまとめ方を例示することで、発達段階に応じた見学・観察・調査・表現活動ができるように配慮されている。</li> <li>(5) 資料と本文の割付を統一するとともに、本文の文字間を十分にとったり、字体を変えたりするなどの配慮がされている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 児童にとって身近な学習内容を選定し、発達段階と内容の系統性を踏まえた単元配列にすることによって、基礎的・基本的な内容が身に付き、実生活への活用ができるように工夫されている。</li> <li>(2) 児童の疑問が各ページの最初に示され、資料と会話文をもとに問題を練り上げたり、新たに生まれた問いを解決したりしながら連続的に追究できるように構成されている。</li> <li>(3) 話合いの場面で、更に追究を深めるための資料や様々な表現方法が例示され、社会的事象の特色や意味を多角的に思考できるように配慮されている。</li> <li>(4) SDG sに関連した内容が多く提示され、社会の持続可能な発展に関わる問題を自分ごととしてとらえ、社会的な見方・考え方を働かせながら学ぶことができるように工夫されている。</li> <li>(5) さし絵・写真・統計資料・地図・年表などの資料を1ページに複数掲載するとともに、二次元コードを随所に配置し、ICTを活用しながら比較・関連付けができるように構成されている。</li> <li>(6) 「学び方・調べ方コーナー」で、グラフなどの読み取り方や道具の使い方、図によるまとめ方を提示し、知識及び技能の定着を図ることができるように工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習内容と関連付けてSDG sの取組が紹介され、よりよい社会づくりについて考える態度を養うように配慮されている。</li> <li>・ 具体的な資料や写真が配置され、社会的事象について多角的に思考・判断ができるように工夫されている。</li> </ul>